

まるくわ 新報

月間活動報告書 2013年8・9月分【vol.9】

発行：からくわ丸-Karakuwa Designers League 2013.11

小鯖1区まち歩き開催 唐中生10名参加

8月22、23日に唐桑は小鯖1区でまち歩きを開催しました。今回は夏休みということもあり、念願の地元中学生とのコラボ企画が実現しました。当日は唐桑中学校3年生が10名参加し、地域の案内人4名、地域の若者（からくわ丸メンバー）3名、県外から来た大学生（からくわ丸学生部隊）13名、市役所から3名、総勢33名で小鯖1区を歩きました。（写真右）小鯖1区は神止浜漁港、白磯浜、大明神崎、峰通りの4区画に分けられ、全35戸の小さな集落です。それぞれの区画に1人ずつ案内人をお願いし、4班に分かれて限なく歩きました。



今回の案内人は4名中3名が男性（しかも全員漁師）、残り1名が女性で神止七福神舞のリーダーをされている方でした。3名の男性は同じ漁師でも全く色が違い、漁の話はもちろん、子どものころの遊びや唐桑御殿、屋号について、神様についてなど面白い話がたくさん聞けました。もう一人の女性の班はなんと、七福神舞を伝授してもらい、2日目の発表会で発表するという今までにない形で、地元の方々にも喜んでいただけました。

そして、まとめでは①見つけた地域の資源を1つずつ写真付きでA4用紙にまとめた「地域資源カード」が86枚、②見つけた地域資源の在り処を模造紙にまとめた「絵地図」、③カードや絵地図に書ききれない地域の文化や歴史を画用紙にまとめた「地域資源シート」の3種類を成果物として作成しました。



今回の成果は？

なんといっても、唐桑中の生徒10名の参加です。地元の若者や地元の案内人などと、地域の中で世代間交流が生まれたこと、まち歩きを通して地域の魅力に直接触れる機会を得たことがすごくよかったです。（写真左）彼らが大人になった時に、「あんな活動したな！どうしてあんな活動したのだろうか？」と唐桑のことを考えてくれることを願っています。【参番隊/岡崎】

*まち歩き：ふるさと再発見プロジェクト—「都会は便利でいいなあ、田舎には何にもないなあ」と「ないものねだり」をするのではなく、地域の生活文化に目を向け「あるもの探し」をしよう—。

地区住民(地元の人)と地区外から来た人(参加者)と一緒に町内を歩いて、地域の魅力を再発見していく「まち歩き」。ルールはひとつ。参加者は地元の人にどんどん質問すること！唐桑の海と山の大きさ、何気ない緑の細道、浜のたたずまい、唐桑御殿、屋号…これらは地元の人にとって普段見つけた当たり前のもの。そこに参加者が驚きと質問を投げかけます。それが地元の人たちにとって「これらは決して当たり前のものじゃなく、まちの魅力なんだ」という気づきにつながります。足元の日常生活に目を向け、将来のまちづくりに活かすヒントを集める活動です。歩いて発見したものは、まとめて保存していきます。

館2区まち歩き発表会 NEWスタイルで！

8月25日、館老人憩の家にて7月に館2区で行ったまち歩きの発表会を行いました。事前に各家庭にチラシを配っていたのに定刻が近づいてもなかなか人が集まらない…しかし開始5分前に皆さんが一斉に来てくれて最終的に10名を超える来場者となりました！本当にありがとうございます！！今回は初めてプロジェクターを使い、手にはiPadという最新機器を駆使しての発表。（写真）初めて発表に参加する学生部隊のメンバーもいて緊張の発表になりましたが楽しく行う事が出来ました。館2区には大理石



海岸があったり、それを取り囲むような遊歩道があったりと、館2区にしかないものを皆さんに発表できたと思います。発表後には住民の皆さんと絵地図などを囲んで意見交換会！歴史に関するお話や昔ながらの文化の話もじっくり聞くことができました。今回初めて小原木地区でのまち歩きでしたが、唐桑にいなが知らないことが多いということを再認識しました。これを機にもっと広く唐桑のことを知りたいと思えたまち歩きでした。【壱番隊/三浦】

第1回からくわ丸のチキチキ!! 釣りバカサークル@馬場の浜

ときは2013年8月11日にここ唐桑に新しい企画が誕生した。その名も「からくわ丸のチキチキ!!釣りバカサークル@馬場の浜」。これは唐桑の中学生とからくわ丸でタッグを組むチーム対抗戦で、釣った魚の種類別にポイントを付け勝敗を競うという企画だ。実に革命的である！



当日はからくわ丸3人と地元の中学生が9人も集まった。3班に別れ竿を片手に若者たちは「ここだ！」と思うポイントへ移動し試合開始！皆やる気MAXで勢いもあった…が釣れない。釣りは忍耐と己に勝つ事が大切だ。…釣れない。途中地元の小学生が参加した。大歓迎！…そして一番釣った！！凄く喜んでた。その笑顔が見たかった我々は、



魚は釣れなくても笑顔が見ただけで大漁であった。お昼少し前に雷と共に雨が降り、そこで試合終了。優勝したチームの中学生にGOTEN Tシャツを授与し、参加賞はからくわ丸ロゴステッカー。皆「またやりたい！次はいつ？」と喜んでもらった。凄くうれしかった！釣ることは大切だがもっと大切なモノを手にした瞬間だった！来年も釣り大会はある。これからもずっと。漢たちの戦いが幕を開けた。【弐番隊/吉田】

クッキングまんま “採れたて旬の野菜”



9月16日に台風の真っ只中、郷土・家庭料理レシピづくり「クッキングまんま」を開催しました。今回は8月にまち歩きを行った小鯖1区のお母さん2名にお願いして、手作りの旬の野菜を使った家庭料理を教えてくださいました。メニューはかぼちゃ粥、かぼちゃの煮つけ、夕顔の煮物、にら玉汁。畑仕事の苦労話も聞き、自給自足の厳しさとお母さん方の強さを実感したクッキングまんまでした。【参番隊/岡崎】

NHK「東北発☆未来塾」ロケ

NHK「東北発☆未来塾」のロケが9月から10月にかけて高知県と唐桑で行われ、からくわ丸から4名(立花、加藤、金野、根岸)が参加しました。講師は地方で活躍するデザイナー、梅原 真さん。「デザインの力」と題し、地域の個性を引き出すデザインを学び、地元唐桑で実践しました。高知城下の日曜市、砂浜美術館や沈下橋を巡りつ梅原さんから投げ掛けられた疑問、「ユタカさって何なの?」について考えました。「自分のユタカさ」を持つことが地域の再発見のきっかけ、地域を元気にするデザインのスタートになるという事でした。唐桑での実践編では大唐桑茶、カツオパーガー、燻製牡蠣の3班に分かれ、それぞれ力作のデザインを作りました。「デザイン」の概念が変わった今回のロケ、今後の活動を見据えた部分でも本当に良い経験となりました。【武番隊/金野】



(高知県 四万十川の沈下橋をバックに)

からくわ丸大学生チーム(学生部隊・広島部隊)活動報告

夏休み学び教室 広島大学の学生参加



8月5日～9日に、気仙沼市教育委員会主催の「夏休み学び教室」が開かれた。唐桑中学校を会場とし、午前は小学生、午後は中学生を対象に学び相談員・支援員として広島大学の学生4人が学習をサポートした。夏休みであるにも関わらず多くの子供たちが参加し、中学生は部活の後でも勉強を熱心に行っていた。高校受験を控える中学3年生の勉強に対する集中力は高く、大学生の学習サポートも必死であった。休み時間には、子どもたちと色んな話をしたり、遊んだりし、時間が経つにつれ仲良くなり、5日間という短い期間ではあったが、お互いに有意義な時間を過ごした。【広島部隊/佐藤】

「気仙沼の夏休み」一緒に

8月10日、気楽会メンバーと一緒に「津波石」案内ツアーを行った。「気楽会の観光案内課」が主催する「気仙沼の夏休み」のプログラムの一環として協力。御崎神社からビジターセンターを経由して、約1km遊歩道を北上して神の倉尻浜へ。地元の漁師さん1名も参加してくれた。今回の津波で浜に上がった巨石「津波石」に、県外からのお客さんもびっくり。「流行りのパワースポットになるんじゃないか」という意見も。ツアーお決まりになりつつある「総大将の自宅で休憩麦茶サービス」も大好評だった。【参番隊/加藤】

GOTEN グッズ好評 中区夏祭り

8月14日に行われた中地区の夏祭りに参加させて頂きました。自分たちのブースを設けてもらい、GOTEN シリーズの販売を行いました。中地区の人のみならず、地元の先輩や後輩、知人や友人まで様々な方々が来てくださり、おかげでGOTEN シリーズも繁盛しました！意外にもお母様方に人気があったのに驚きました。祭りの出し物にも参加し、販売のみならず祭りそのものを皆で楽しむことが出来ました。

【総大将/立花】



お盆料理レシピ完成！クッキングまんま

7回目となる今回のクッキングまんまは8月5日に開催。メニューは、お盆の時期に食べてられている「ほろぎばっとう」や「くずかけ」、そして暑い夏にさっぱり「きゅうりの酢の物」。今回参加してくれたのは東京から高校生2名、大学生9名。そして地元唐桑からはなんと、小・中・高校生、社会人の計8名という様々な世代の参加者が集まった。先生はからくわ丸市会のお母さんたち。ほろぎばっとうを生地からこねたり、祝い事のときの野菜の切り方を教わったり…。地元の若者は食べたことがあってもつくったことがなく、東京の学生にとっては食べたこともなかった唐桑のお盆料理にみんな興味津々。おいしいのしい試食会のあとは各料理をレシピにまとめて完成！（これで来年のお盆はみんな自分のおうちで作れるね☆）つくったレシピはHPへ。

<http://karakuwamaru.net> 【学生部隊/根岸】



初メンバーも！ 学生部隊として 初めてのキャンプ

8月19日～23日、からくわ



丸学生部隊として初めてのキャンプを行った。参加メンバーは10名(内4名が唐桑初訪問)。今回の目的は「気仙沼・唐桑という土地を知る」。到着した19日は朝から気仙沼魚市場へ。そして気仙沼大島で観光をした。20、21日は唐桑御殿「つなかん」や遊歩道散策など今までの学生メンバーが活動していた主な場所を見学した。そして22、23日は実際にまち歩きに参加し小鯖1区を案内の方、唐桑中学校の生徒、本部メンバーと一緒に歩き、絵地図にまとめた。初めてのメンバーからは、実際に足を運んでみて唐桑の状況や唐桑の人のつながりの強さを実感した、という声が多くあがった。今まで唐桑に来たことがあるメンバーも含め、気仙沼・唐桑というまちをより深く知れたキャンプとなった。【学生部隊/古田】

その他

8月10日 市内で開催された気仙沼みなとまつりの「はまらいんや踊り」に唐桑中学校の3年生に交じって参加。

9月8日 事務局長加藤が母校白陵中学校・高等学校(兵庫県)文化祭にて講演。

からくわ丸の活動を応援してください。

よろしくお問い合わせください。info@karakuwamaru.net

【お振込先】

ゆうちょ銀行 店番:818 科目:普通

口座番号:0045788

口座名義:カラクワマル カラクワデザイナーズリーグ

早稲田にて物産展開催

9月23日に早稲田地球感謝祭(早稲田大学周辺の商店街主催。全国各地から出店者が集まる来場者数3万人のビッグイベント)に出店。今回の目玉商品は唐桑のわかめをたっぷり使った「わかめうどん」。行列ができるほど大人気だった。来場者の中には唐桑を知っていたり、行ったことがある人たちも。そして、からくわ丸の活動内容についても熱心に耳を傾ける姿も見られた。このように大都会東京でも、唐桑を通じて人と人が繋がれるんだと思ひ、嬉しかった。学生部隊では今後も物産展などの企画を通して、東京で唐桑の魅力をどんどんアピールしていきたい。【学生部隊/畑岡】



「まるくわ新報」vol.9

編集 事務局 岡崎真弓

校正 事務局長 加藤拓馬

